

プラン・インターナショナルと武田薬品工業株式会社が、 権利といのちを守る出生登録のデジタル化をケニアにて推進

国際 NGO プラン・インターナショナル(以下、プラン)は、武田薬品工業株式会社と連携し、ケニアの海岸州クワレ県においてデジタル化導入による出生登録の推進と社会サービス環境の整備に取り組みます。今後3年間で、0歳から18歳までの子ども約2万5000人が対象となる予定です。

出生登録の重要性と障壁

出生登録は、人間として尊厳のある生活や基本的な社会サービスへのアクセスを保障するもので、子どもの基本的人権を守るための重要な手段です。しかし、現状は国や行政における制度の未整備や予算の不足、住民の認識不足や届けにかかる経済的負担などが足かせとなり、世界では約2億3000万人の子どもが未登録で、南アジアとケニアを含む東南アフリカで特に課題とされてきました。

ケニアでは、国家戦略として2017年までの出生登録100%達成を掲げていますが、2014年時点では62%台にあり、早すぎる結婚や人身売買などの危険から子どもたちを守り、教育や医療などの社会サービスを受けられる環境を作るための第一歩として出生登録向上の対策が求められています。クワレ県における出生登録割合はケニアの全国平均を下回る51.6%(0-18歳)に留まっています。



デジタル化で出生登録率の向上へ

デジタル出生登録推進におけるプランの役割と出生登録の効果

デジタル出生登録は、携帯電話やパソコンを利用したデータによる出生登録で役所での書類手続きは不要なうえ、行政機関の少ない環境において居住地域での登録が可能になります。国や行政にとっても正確な人口統計が可能となることで、ワクチン接種などを含めて効果的な政策の策定が可能になります。

プランは、国連、世界各地の政府、パートナーとともに「出生登録キャンペーン」を10年以上にわたり展開しており、2005年から2009年までの期間に、32カ国で4000万人の出生登録を実現。また10カ国において出生登録を無料化する法律改正を働きかけ、1億5,300万人の子どもたちがその対象となるなど出生登録改善をリードしています。デジタル出生登録に関しても、国連アフリカ経済委員会が進めている出生登録に関するプログラムの主要メンバーとして、ガイドブック作成や政策提言を含め、中心的な役割を果たしています。法的な存在証明を確かにすることで、あらゆる社会的サービスへのアクセスを可能にし、子どもの権利といのちを守ります。

デジタル出生登録活動ともたらされる成果

主な活動内容

- ① 携帯電話とパソコンを活用した出生登録件増
- ② 保健所職員とコミュニティ保健員の能力強化
- ③ 成功事例として他地域へ展開する土台作り



子どもの権利といのちを守る長期的インパクト

- ① 公共サービスへのアクセス向上
- ② ワクチン接種率向上など子どもの健康改善
- ③ 正確な人口統計に基づく効果的な施策

プラン・インターナショナルは、子どもの権利を推進し、貧困や差別のない社会を実現するために世界70カ国以上で活動する国際NGOです。創立は1937年。長年にわたり、子どもや若者、地域の人々とともに地域開発を進めてきました。すべての子どもたちの権利が守られるよう、とりわけ女の子や女性への支援に力を入れています。市民社会、政府機関や国際機関と連携しながら、世界を持続的に、前向きに変えていきます。

このリリースに関するお問い合わせ先

公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン 広報担当 後藤

〒154-8545 東京都世田谷区三軒茶屋2-11-22-11F

TEL 03-5481-6517 FAX 03-5481-6200

ryo.goto@plan-international.jp

